

生産方式革新実施計画の概要【株式会社 絆ファーム】

2026年
1月28日認定

活用するスマート農業技術

栽培管理システム

新たな生産の方式

データを産地内で共有し、次期栽培に活用



水稻において、栽培管理システムから得られたデータ（地力、生育状況など）を産地内の農業者と共有し、そのデータと比較しながら次年度の栽培管理を改善する。

<申請者>

株式会社 絆ファーム（山形県新庄市）

経営概況（2026年1月時点）

経営規模：水稻28ha、ソバ4ha

従業員数：4名

<対象品目>

水稻

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



絆ファームの皆様



栽培管理システム（KSAS）

～認定を受けて一言～

スマート農業技術対応機械を導入して作業の効率化をはかり、生産性向上につなげたい。

また、今後は地域内の農業者と栽培管理データを共有して、地域の活性化、発展に取り組んでいきたい。